

出演者プロフィール

Jeff Witscher | ジェフ・ウィッチャー

1983年カリフォルニア・ロングビーチ生まれ。現在はポートランドで自身の清掃会社「Vincent's Expert Cleaners」を管理しています。彼はこれまでに数多くの名義を使い分けて精力的に音楽作品を発表していました。おそらく最も知られている名義はRene Hellでしょう。また熱烈なチェスプレイヤーであり、近年は清掃業と読書とチェスを中心とした生活を送っているそうです。オーガニック・フィールド・レコーディングと電子音をハイブリットした彼の音楽が持つ最大の魅力は、飾り気の無い美しさ。ライブ・パフォーマンスでは、より繊細かつ壮大な物語性のある表現を試みません。

soundcloud.com/rnpetalgaz
saloncdr.blogspot.com

大田高充 | Takamitsu Ohta

1980年生まれ。成安造形大学卒。場所・土地・環境から発生する固有の自然現象に注目した作品を制作。音作品及び音響への取り組みとして2013年に"Guwez/Yzurm" Self-help Tapes (スウェーデン) を、2017年にAnne-Françoise Jacques との共作"Two Forms Of Contact With Objects"をMore Mars (ギリシャ) よりリリース。2015年にグループ展「Tomorrow, Today will be Yesterday」(ポルトガル) に参加。2017年活動再開となったSenufo Editionsより作品集"elemental studies"を発表。

soundcloud.com/takamitsuhta

小林椋 | Muku Kobayashi

1992年東京都生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科 修士課程 情報デザイン領域 修了。京都市立芸術大学大学院美術研究科 修士課程 彫刻専攻 在籍。ある機構や機関にモノが挿入されたり、その運転への加担によって生じる性質の発現や疲弊の様子を観察しながら作品を制作する。近年の主な展覧会に「エマーゼンシーズ! 032『盛るとのるソー』」(ICC,2017)、「恋せよ乙女! パープルーム大学と梅津庸一の構想画」(ワタリウム美術館,2017)、「無・ねじらない」(コ本や,2017)などがある。

pocopuu.net

Eric Frye | エリック・フライ

アメリカを拠点とする作曲家、アーティスト、キュレーター。彼はこれまでに細分化され続けた実験音楽におけるジャンルの境界を超越した、数学や言語学に基づいた彼独自の哲学による音響の在り方を探求しています。マルチチャンネル音響を用いて複数のレイヤーを持った音を空間に配置する彼のライブ・パフォーマンスやインスタレーションは、聴覚で動きや物質を表現すると同時に、耳では感知できない音の波形(コンピュータ上に現れる音の形で描かれたドローイング)や、空白(無音を用いて目に見えない物体を創り上げるかのようなインスタレーション)などを主題とした従来の音楽的価値観では捉えきれない表現にも感じられるはずでしょう。

ericanthonyfrye.com

船川翔司 | Shoji Funakawa

1987年 鹿児島生まれ。展示やパフォーマンスを中心に活動。主に淀川河岸近辺の日常から断絶した異他なる場所案内『場所』2016年、元お欠き工場の廃工場、山本製菓にて『Poehum (poetry humming)』を発表。Yakaraやアキピンオオケストラに参加している。

shojifunakawa.com

松延総司 | Soshi Matsunobe

1988年熊本県生まれ、京都、滋賀在住。美術家。線や影を概念的に扱い、作ることで消すこと、在ることと無いことのような矛盾についての制作を行なっている。日本やヨーロッパでの多数の展示に加え、近年ではアパートのリノベーションやパフォーマンス形式での作品発表なども行なっている。主な展覧会に「Knit the Knot」HAGIWARA PROJECTS (2016、東京)、「控えめな抽象」Maki Fine Arts (2015、東京)、「Abstract Jungle」GALERIE DE MULTIPLES (パリ、2015)、「スティル・ライフ・トランスペアレント・オブジェクト」HAGIWARA PROJECTS (2014、東京)、「Twisted Rubber Band / Humming」Gallery PARC、(2013、京都) など。

matsunobe.net